

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
35001	X-21-B-3-350018	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択	1年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	1年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	×
地域統合論	臼井 陽一郎			【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	×
		【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	×		

授業目的

1. 地域統合の概念について理解を深めるため、関連概念（地域主義、地域共同体、国際組織、レジーム、ガバナンス、ヘゲモニーなど）の学習を進める。
 2. 地域統合の理論について、経済学・政治学・社会学の各方面から例示的に幅広く学習する。
 3. 東アジア地域主義の歴史と現状を概括的に把握したうえで、この地域の国際政治の基本構造について習熟する。
- なお、この授業は、「グローバルな課題に批判的な問題意識と建設的な眼差しをもって向きあう実践的な態度を獲得する」ための科目のひとつになる。
- また以下の内容・順序は、当該年度学期に展開する新たな政治状況のありようまたは最新の研究動向に応じて、変更することがある。最新のものを紹介することを優先したい。

各回毎の授業内容

第1回

【授】地域主義の理念と世界の事例—協力・統合・共同体
【前・後】アフリカ連合やメルコスル、湾岸協力会議や上海協力機構、APECやASEANプラス3、東アジア首脳会議（サミット）といった用語をインターネットで調べて、自分なりのイメージ作りを進めておくこと。4時間相当の事前事後学習

第2回

【授】東アジア地域主義の現状と行方—中国のプレゼンスとASEANのポテンシャル、日中韓の途切れ途切れの模索
【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習

第3回

【授】地域主義の基本概念（1）協力、統合、共同体、国際組織との異同、リアリズム・リベラリズム・コンストラクティヴィズム
【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習

第4回

【授】地域主義の基本概念（2）ヘゲモニーとガバナンスとレジーム、リージョナリズムとグローバルリズム
【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習

第5回

【授】地域主義の基本概念（3）地域主義の担い手、多次元多層のリージョン、ネ이션・ステイトの相対化
【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習

第6回

【授】地域主義の歴史：第二次大戦以前・冷戦期・グローバル化期、ヨーロッパ中心の目的論的思考への反省、ヨーロッパ統合・EU研究の蓄積
【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習

第7回

【授】社会理論の視座（1）社会学のアプローチ、ふたつの統合概念：社会統合とシステム統合、システム統合の展開としての経済理論と政治理論、社会的構築という視点
【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習

第8回

【授】社会理論の視座（2）国民国家の場合、社会統合とシステム統合の齟齬という問題、EU統合の根本問題
【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習

第9回

【授】経済理論の視座（1）バラッサの経済統合段階論
【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習

第10回

【授】経済理論の視座（2）自由貿易協定とくに貿易創出効果・転換効果と原産地証明
【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習

第11回

【授】経済理論の視座（3）マクロ経済調整と最適通貨圏の理論
【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習

第12回

【授】政治理論の視座（1）政治学アプローチの構図、古典的対抗関係としての新機能主義と政府間主義
【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習

第13回

【授】政治理論の視座（2）リベラル政府間主義と歴史制度主義
【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習

第14回

【授】政治理論の視座（3）PA理論—プリンシパルとエージェントの関係としての地域共同体
【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習

第15回

【授】政治理論の視座（4）ガバナンスと規制国家
【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習

第16回

【授】ワークシート提出
【前・後】ワークシートを完成させておくこと

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							50
宿題・授業外レポート							50
授業態度・授業への参加							
成果発表表（口頭・実技）							
演習							
その他							
学期末ワークシート50%・毎回のコメントカード50%							

教科書参考書

授業中に適宜指示する。

受講に当たっての留意事項

関連科目に国際政治学・国際法・国際組織論・EU論・現代ヨーロッパ論がある。事前にもしくは平行して受講するようにしてほしい。なお、毎回コメントカードを書いてもらう。その日の授業のまとめを記し、感想や疑問を述べるという形式にしたい。

学習到達目標

1. 国際政治の現状を地域主義の展開という視点から考察し、認識できるようになること。
2. 経済学・政治学・社会学それぞれの地域統合理論を相互の関係性という視点から考察しようする意識をもつようになること。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習